

令和6年度5月定例教育委員会議事録

【日時】

令和6年5月17日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後3時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学びの支援課長補佐	山崎 貴弘
学校支援課長	小澤 靖一
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	翠川 俊一
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

- (1) 【非公開】 区域外就学の認定について
- (2) 【非公開】 通級指導教室への通級判断について
- (3) 辰野町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の選出について

2 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子及び運営上の諸課題
- (2) R 6 各学校の校長の願い・教育課程について
- (3) 第2回辰野町立小・中学校あり方検討委員会から
- (4) 川島小学校・辰野西小学校統合準備委員会設立について
- (5) 川島小学校閉校記念事業について
- (6) その他

3 報告事項

- (1) 町校長会・教頭会役員構成
- (2) 市町村教育委員会連絡協議会報告
- (3) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。ゴールデンウィークから2週間、春から初夏の装いとなり、山々の新緑が大変美しく、良い季節になりました。農作業も本格的に始まり、田植え真っ盛りです。しかし、例年と異なり、今年は、日中の気温がぐっと高くなりますが、朝晩は肌寒さを覚える程、気温が下がってしまいます。1日の中で寒暖差が大変大きくなっています。

昨年までと大きく異なり、今年は、各学校でも社会教育・公民館関係でも、ゴールデンウィーク以降、様々な行事やイベント、催し物が執り行われるようになり、教育委員会事務局内も大変忙しくなっています。社会教育・公民館関連では、毎週土日、何かイベントが入る様になりましたが、4年振りの事です。来週から、人権同和教育関連の各種会議が目白押しです。6月から始まります今年度、町の人権同和教育の研修に繋がっていきます。町内の小学校では、今月末から来月初めにかけて、運動会が予定されており、既に運動会に向けた準備や練習が始まっています。教育委員会の皆様には、また各学校の運動会にご出席頂ければ幸いです。

4月に突然、4名の外国籍児童生徒の転入がありました。辰野南小学校には、パラグアイから1年生と6年生の女子が、辰野中学校には、フィリピンから1年生に男子、3年生の女子がそれぞれ転入、4人共来日したばかりで、日本語が全くできない状況ですが、子ども同士、言葉が分からなくても表情等からすぐ理解し合える様になり、共に過ごす姿が見られる様になっています。

さて、今日の定例教育委員会では、区域外就学の認定、通級指導教室への通級判断、社会教育委員の選出について、協議として、学校の様子やR6年度教育課程、あり方検討委員会、西小学校との統合準備委員会、川島小学校閉校等になります。それでは、よろしくお祈いします。

5 議事

(1) 【非公開】区域外就学の認定について

- ・翠川学校教育係長より説明。承認。

(2) 【非公開】 通級指導教室への通級判断について

- ・教育総務係中沢より説明。承認。

(3) 辰野町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の選出について

- ・山崎学びの支援課長補佐より説明。承認。

6 協議

(1) 【非公開】 学校の様子及び運営上の諸課題について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』、『5月校長会資料』を提示。

(2) R6 各学校の校長の願い・教育課程について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として『令和6年度 校長としての学校経営の重点（教育課程の方向）等』を提示。

●教育委員会目標

- ・児童・生徒が「明日も学校が楽しみだ」「明日も授業が楽しみだ」と実感できる学校づくりをおこなっていききたい。
- ・令和の日本型学校教育のスタンダードとなる「個別最適な学び」と「協働の学び」とは、実際にどうする事なのかを先生方が意識し、自分の授業改善に活かしていきたい。
- ・文科省公表の令和4年度の不登校児童生徒数は全国でも長野県内でも過去最高を記録したが、辰野町内では増加傾向は見られなかった。引き続き、児童生徒の個に応じた支援体制を組み、全教員で対応していきたい。
- ・社会のあり様や人々の価値観が大きく変化している今日、学校教育に対する考えも様々となった。文科省は「不登校は問題行動ではない」と定義したが、それは当然の事。一方で「学校教育に意義を見出す事ができない」とする保護者も出始めている状況がある。この様な新たな課題に対する対応も急務である。
- ・小学校高学年を中心にした教科担任制導入を一層進める。より専門的な授業を提供する他に、生徒指導面でも学級経営面でも大変大きな意義があると考え。

●川島小学校

- ・重点目標「モハメド～もぐもぐ・はきはき・めりはり・どんどん」

「食育」「学習意欲向上」「人間関係力」「ワクワク学びたくなる為の半歩先の支援」と言った課題の解決の為、昨年度「モハメド」を掲げ、実践。イメージを浸透させる事ができ、今年度も継承していく。

●辰野西小学校

- ・子どもの自己肯定感、自己有用感の向上をベースにした指導をしていく。
- ・具体的な工夫・改善として①「子どもや保護者に寄り添う」を大事にしていく。週1回の給食後の時間を子どもとの触れ合い、理解する時間として大切にする。②授業改善を目指していく。③普段の会話や日記等から子どもの思いを掴み、スタートしていく。④どんな子も見捨てない事を基本に、時間をつくり寄り添っていく。⑤PTAは「できる人ができる時に」を基本にしていく。

●辰野東小学校

- ・学校経営の構想として、「自律した子ども」を育てていきたい。これを実現する為に、授業・家庭学習を以前の様な家庭学習を止め、「探求」という事で、自分で課題を見つけて、自分で必要な家庭学習を考えていく。クラブ活動は子ども達の手で運営し、「挑戦」できるクラブ活動を楽しむ。

●辰野南小学校

- ・学校経営の構想として、今年は新任者が来ましたので、新任者と共に学ぶ教師集団を目指す。伝え合い、答え合う中で、「受け止める」力の育成をする。
- ・具体的な工夫・改善として、一部教科担任制の実施をおこなう。

●辰野中学校

- ・学校教育目標として「正しい知識を学び 心豊かに たくましく生き抜く」に向かって、生徒が自らのエネルギーをどのように発揮しようとしているか、その発揮の時期や発揮の仕方について、自ら考え、決め、実行して欲しいと願う。
- ・教育課程として、生徒主体の取り組みを増やしていきたい。教科学習においては「問いから問いに繋がる授業」を目指していく。家庭学習では「宿題」を止め、毎日帰りの学活5分間の「プランニング・タイム」で、家庭学習を自分で考えさせる。

< A 委員 >

質問ではないですが、「たつのこ学舎」は本来の意味はそこに在籍している子の正式通級指導という事でなくても、ちょっと渋っているだとか、ちょっと困っているという子に対応する意味合いですよね。本来の意味が実現しているのではないかと感じています。

<宮澤教育長>

何故、この様にしたかと言いますと、正式には学校の校長先生が挙げてきて、教育委員会が許可を出して、入級となり、新しいカリキュラムを作ってやっていく事になりますが、そうしておかないと駆け込み寺になりかねない。授業が面白くない、こっちの方が楽しそうだと行って来ても困るので歯止めの意味があります。何かあった時は、時間との勝負だと思しますので、教室に入れなくなってしまった子をすぐに対応しないと、不登校になってしまうかもしれません。今年度はまだありませんが、昨年も「たつこの学舎」の先生がある小学校に行き、急に休み始めた子について校長や子ども、保護者と懇談をしたりしました。

< B 委員 >

最近の保護者を見ていると中には、「学校教育に意義を見出す事ができない」という方が出始めている。学校教育をどう考えているか。学校を託児所みたいな考え方でいる。そういう感覚の人が町内でも出てきているのかなと感じています。学校に行き、友達と学んで欲しい、成長して欲しいという考えではなくて、とにかく預けたいという方もいます。

川島小学校では、7月迄には来年の学校を決めてくださいというお話を校長先生からしていますので、子ども達の将来を考えて決めて欲しいと思います。

<宮澤教育長>

辰野町では、PTA がいないという保護者は出始めてきていますが、学校に対する考え方はまだ、あまり聞かないです。保護者が自分中心ではなく、子どもの為を考えて欲しいと思います。

(3) 第2回辰野町立小・中学校あり方検討委員会から

<宮澤教育長>

先日、行われたあり方検討委員会について、本日、資料等はございません。何か感じられた事等ありましたら、お願い致します。

< C 委員 >

意見ではありませんが、聞いていて、「こんな事は教育委員会が決めれば良い」という意見が多々あって、他人事に聞こえてしまいました。委員会に対する取り組みが人任せの様な雰囲気を感じました。

<宮澤教育長>

その様な意見を大きな声で発言された方もいましたね。ただ出てきた意見全体を

取り纏めてみると、そうした意見もありますが、このままではいけない。小学校3校で辰野町がこの先、40年はいけるはずがないので、何らかの形で集約していかなくてはならないという事は教育委員会の方針としてきちっと持って、この検討委員会を立ち上げた次回はしっかりと出すと事務担当と話をしております。その中で様々なあり方等が出てきている中から、整理して纏めていく中で、先進事例を紹介や、文科省や県の考えを示していこうと確認しました。

<D委員>

初回なので、上手く意見が出せないところもあると思うので、論点が合っていない様な発言もあつたりしましたが、仕方がないと思って見ていました。あり方検討委員会委員として来ているので、あり方について話をしてくれれば良いのですが、違う話をしてしまう方もいたので、争点が詰まってくればそんな事にはならないと思うので、初回は仕方がないかと思って見ていました。ただ折角、集まって頂いているので、建設的な意見を言って貰いたいと思いました。

<宮澤教育長>

委員長もその様な話はされていましたが、教育委員会の方針を示さないと言われておりましたが、それでは教育委員会が決めれば良いという話になってしまいますし、その後から、あり方検討委員会があつたのでは意味が薄れてしまいます。次回をどういった形でやるかは少し整理して決めていきますが、もう一回位グループワークをやつて、その次から争点化していくのではないかと考えております。最初から、小学校1校、中学校1校だとか小・中一貫だとかを教育委員会ですす訳にはいきません。

<E委員>

様々な意見があつても良いかと思いますが、保護者の立場で参加されている方がいる中で、自分のお子さんを思い浮かべながら、将来の事について意見を述べようかなと思っているところで、ご意見番的な立ち位置で話をしてしまうと、保護者の立場で来ている方達が意見を引っ込めてしまわなければ良いなと思いました。

(4) 辰野西小学校・川島小学校統合準備委員会設立について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として『辰野町立辰野西小学校・川島小学校統合準備委員会設置要綱』『統合準備委員会 組織図』『委員名簿』を提示。

- ・準備委員会は、統合が円滑にいく様に、必要な事項を検討し、調整を図るもの。
- ・総務部会、学校運営部会、PTA部会を組織し、中核職員は各部会にそれぞれ所属

する。

(5) 川島小学校閉校記念事業について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として『閉校記念事業について』『閉校記念事業実行委員会 実行委員名簿』を提示。

6月1日(土) 閉校記念運動会

9月7日(土) 閉校記念授業公開・記念講演会

10月19日(土) 川島小学校閉校記念式典

3月18日(火) 川島小学校閉校記念碑建立

川島小学校閉校記念誌・DVDを作成

(6) その他

●学級担任緊急代替支援事業について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『プレス資料』『新聞記事』を提示。
- ・東小学校で利用し、報道機関へプレスし、新聞3社で記事にして頂いた。

7 報告事項

(1) 町校長会・教頭会役員構成

- ・前回教育委員会で説明済み。

(2) 市町村教育委員会連絡協議会報告について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『5月市町村教育委員会連絡協議会(報告)』を提示。

(3) その他

8 閉会